

東日本大震災 対策本部情報	103号	2011/06/09
------------------	------	------------

## 大宮運転区の仲間たち5名が

### 床下の漂流ゴミ撤去のボランティアに参加！

6月8日、大宮運転区の仲間5名と盛岡地本の仲間たちがボランティア活動に参加、床板をはがし、床下にたまった漂流ゴミの撤去を行いました。

作業終了後、釜石支部との意見交換会を行い、ボランティア活動に参加したきっかけや感想などを出し合いました。「困っている人の力になりたかった」等の率直な意見、さらに「支部の皆さんには迎え入れ体制をつくっていただきありがとうございました」など、組織の絆を感じた感想が出されました。

釜石支部・山崎支部長からは「鉄道の復興を実現していくためには地域との連携が重要になる。地域とともに、という気持ちを大事に取り組みを行っている」こと、さらに「被災組合員への会社の不誠実な対応がある」ことなどが語られ、労働組合運動としてしっかりと復興ボランティア活動を取り組んでいくことを確認しました。

最後に、大宮地本青年部野球大会参加者250名で取り組んだ檄布、さらに新入組合員歓迎会での檄布・カンパを釜石支部委員長に手渡し、今後も共に運動をつくり出していくことをお互いに確認しました。

JR東労組本部

